

事業番号	05 08 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課			
		実施期間	S26 ~	E-mail	kansen@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	健康長寿							
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実							

## 1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> 感染症が発生した際の拡大防止を図り、県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進していく。 また、感染症にかからないための予防啓発も引き続き実施していく。 <b>【これまでの取組】</b> ・感染症の流行状況を調査し公表 ・感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施				
	<b>令和2年度点検結果</b> (令和元年度実施事業分) ・ <b>現状分析</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症については、感染拡大の懸念や危機感が強まっている。引き続き、感染症の拡大防止に努めることが必要。</td> <td>           ・感染症が発生した際の県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進。            ・必要な検査機器等の設備を整備することによって体制強化を図り、今後の感染症発生に備える。         </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	新型コロナウイルス感染症については、感染拡大の懸念や危機感が強まっている。引き続き、感染症の拡大防止に努めることが必要。
課 題	今後の方向性				
新型コロナウイルス感染症については、感染拡大の懸念や危機感が強まっている。引き続き、感染症の拡大防止に努めることが必要。	・感染症が発生した際の県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進。 ・必要な検査機器等の設備を整備することによって体制強化を図り、今後の感染症発生に備える。				

## 2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓抗原簡易キットを活用することで陽性者の早期発見を促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・陽性者の早期発見を図るため、市町村と連携し、感染拡大地域等において抗原簡易キットを配付</li> <li>・抗原簡易キットの活用により、医療機関受診行動を促進</li> </ul> </li> </ul>
--------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
						R1年度				R2年度	R3年度						
1	結核罹患率	9	7.6	↑	6.7	↑	10以下	前年度繰越				145,857	2,491,247				
2	感染症指定医療機関の数(現状維持)	11医療機関	11医療機関	→	11医療機関	→	11医療機関	当初予算	363,874	364,736		12,263,100					
3	麻疹風しんの2期定期接種率	95.2%	94.9%	↓	95.0%	↑	95%以上	補正予算	344,017	26,547,439		8,955,641					
4								合計(A)	707,891	27,058,032		23,709,988					
5								うち一般財源	429,140	786,379		669,449					
								決算額(B)	366,282	22,826,251							
								職員数(人)	4.0	4.0		55.0					
成果指標設定理由	1 接触者検診の実施などにより、結核の早期診断、感染拡大防止に努め、低蔓延状態とされる罹患率10以下を維持する。 2 感染症指定医療機関を維持し、必要な備品等の整備を促進することにより、万が一の感染症発生に備える。 3 風しんに関する特定感染症予防指針に定める接種率目標である95%以上とし、麻疹・風しんの発生を予防する。																